

報道機関 各位

## 『R7年度 P. F. C. 戦後80周年 南九州市交流研修』

北九州市と南九州市は、両市の発展に供する施策の推進と市民の交流促進などを目的に平成20年7月に交流協定を締結し、様々な分野で交流を図ってきました。

この度、様々な視点から“平和”について考え、行動する人材を育成するため、平和のまちミュージアムが設立した『～考える・つながる・伝える～ 北九州市ピースフィールドクラブ（愛称：ピーフィ）』のメンバー16名が、南九州市の平和関連施設等へ訪問します！

今回の研修を通して、改めて戦争体験への理解を深め、平和意識の向上を図るとともに、両市の更なる連携強化を図ります。ご取材方、よろしくお願いします（同行取材も可能です。ご相談下さい）。

1 研修期間 令和8年1月31日（土）－ 2月1日（日） 【1泊2日】

2 研修先 鹿児島県 南九州市

鹿児島県 南九州市 ○ 知覧特攻平和会館 ○ 知覧平和公園 ○ 知覧武家屋敷庭園  
○ ホタル館富屋食堂 ほか

3 研修参加者

参加者：『～考える・つながる・伝える～ 北九州市ピースフィールドクラブ』メンバー 16名

内訳 社会人 1名、大学生 2名、高校生 8名、中学生 5名 / 男性 2名、女性 14名

引率者：北九州市 総務市民局 平和のまちミュージアム事務局 2名、政策局 政策課 1名 合計19名  
南九州市 企画課 2名（現地合流）

### 《～考える・つながる・伝える～ 北九州市ピースフィールドクラブ とは》

北九州市の文化や歴史、戦争の悲惨さや平和の大切さ、命の尊さなどについて学び、様々な視点から「平和」について考え、仲間と共に、市内外の多くの人と繋がり、自ら行動・発信できる人材を育成することを目的に、北九州市内の中学生・高校生・大学生・社会人（30歳まで）で構成される団体で、令和6年度平和のまちミュージアムが設立。現在、33名（中学生10名、高校生10名、大学生・社会人13名）が活動しています。

### 《北九州市・南九州市との交流協定について》

九州の南端に位置する南九州市（平成19年12月に三町が合併し発足）とは、九州新幹線の開通により鹿児島との時間的距離が短縮されることから、西九州軸のネットワークづくりとして、交流協定を締結し、それぞれの市で開催するイベントに、相互の事業者が出店するなど、官民による交流事業を実施しています。

#### 4 行程（プログラム）

1月31日（土）		2月1日（日）	
7:40	市役所本庁舎集合（南口玄関前）		
8:00	●「出発式」後、出発 出		
移動	▶ 高速道路SAで10分休憩 × 2回	9:00	宿泊施設 発 出
(車内)	●DVD『後世に語り継ぐ北九州市民の戦争体験』、 『見上げる空の彼方にー穴澤利夫大尉と智恵子さんの物語ー』視聴 観	9:20	知覧武家屋敷庭園 着
		(60分)	●知覧武家屋敷庭園 見学 観
13:00	昼食 食	10:20	知覧武家屋敷庭園 発 出
(60分)		10:25	ホテル館富屋食堂 着
14:50	知覧特攻平和会館 着	(40分)	●ホテル館富屋食堂 講話聴講・見学 観
(90分)	●知覧特攻平和会館 見学・講話聴講 観		・講話の聴講【鳥濱 拳大(とりはま けんた)さん】
	・館内見学		・館内見学
	・講話の聴講【川床 剛(かわとこ たけし)さん】	11:05	ホテル館富屋食堂 発 出
16:20	知覧特攻平和会館 発 出	11:25	昼食 食・休憩
16:30	三角兵舎 着	(90分)	
(30分)	●三角兵舎 清掃 観	移動	▶ 高速道路SAで10分休憩 × 3回
17:00	三角兵舎 発 出	(車内)	●全体振り返り 観
17:10	知覧文化会館 2F 大会議室 着		
(60分)	●『劇団いぶき』との交流会 観		
	・テーマ：「大切な人へ想いを届けるー知覧からの手紙ー」		
18:20	知覧文化会館 2F 大会議室 発 出	18:25頃	市役所本庁舎 到着（南口玄関前）
18:30	夕食 食		●「解散式」
(80分)	●ミーティング 観	18:40頃	解散
	・1日目の振り返り、2日目の事前学習		
20:10	宿泊施設 着		

#### 5 問合せ先

○ 当該研修全般に関すること、北九州市ピースフィールドクラブ、平和行政 等に関すること  
総務市民局 平和のまちミュージアム事務局 居藏(課長)・三角(係長) ☎ 093-592-9300

○ 南九州市との連携協定、交流 等に関すること  
政策局 政策課 岩寄(課長)・大場(係長) ☎ 093-582-2302

#### 6 その他

研修終了後、現地写真の提供が可能です。

取材のお問合せは「5 問合せ先」までご連絡ください。